

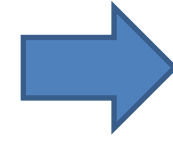
1 第9次宮城県職業能力開発計画の概要

【計画期間】

平成24年度～平成27年度

【背景】

- 東日本大震災の影響により、多くの離職者が発生
- 東日本大震災の復興需要に伴う人材不足
- 県内に自動車関連産業などの企業が集積



【計画の方向性】

- 1 東日本大震災からの復旧・復興を担う産業人材の育成
- 2 雇用のセーフティネットとしての職業能力開発の強化
- 3 職業生涯を通じたキャリア形成支援
- 4 技能の振興
- 5 特別な支援を必要とする方に対する職業能力開発

2 計画の進捗状況

1 東日本大震災からの復旧・復興を担う産業人材の育成

- (1) 震災からの復旧・復興につながる地域のニーズに応じた職業訓練の充実
 - 県立高等技術専門学校で下記の訓練科を設置

施設内訓練		委託訓練	
左官科	平成26年度から再開	玉掛け・小型移動式クレーン運転科	平成24年度
内装仕上げ施工科	平成25、26年度に実施	建設重機操作科	平成25年度
電気通信工事科	平成25年度に新設		
配管科	3、6ヶ月訓練を実施		
溶接科	3、6ヶ月訓練を実施		

- 東北職業能力開発大学校で離職者訓練として、建設施工科を実施
就職者総数 54名(H24～26年度)

H24 12名 H25 21名 H26 21名

- ポリテクセンター宮城で、H24～26までに実施した震災復興訓練科
・機械、電気・電子、居住系のコースを実施 就職者総数 1,144名
H24 354名 H25 391名 H26 399名

- (2) ものづくり分野の人材育成の推進

- 県立高等技術専門学校普通課程 就職者総数557名(H24～26年度)
H24 214名 H25 172名 H26 171名

- 東北職業能力開発大学校専門・応用課程 就職者総数321名(H24～26年度)
- | | H24 | H25 | H26 |
|----|-----|-----|-----|
| 専門 | 32名 | 20名 | 25名 |
| 応用 | 80名 | 80名 | 84名 |

- (3) 環境・エネルギー分野等の新たな産業における人材育成の推進

- 平成24年度から環境・エネルギーの技術の革新に対応できる電気のエンジニアを育成するために東北職業能力開発大学校に「電気エネルギー制御科」を設置

2 雇用のセーフティネットとしての職業能力開発の強化

- (1) 再就職に必要な技能・技術を習得するための職業訓練の実施

- 県立高等技術専門学校で委託訓練を実施

就職者総数 3,730名(H24～26年度)
H24 1,314名 H25 1,252名 H26 1,164名

- 宮城労働局等で求職者支援訓練を実施

就職者総数 2,763名(H24～26年度)
H24 1,332名 H25 971名 H26 460名(雇用保険適用就職者数のみ算出)

- (2) ジョブ・カードの活用

- 県内の離職者等に対し、ジョブ・カードを交付
12,317件交付(H24～26年度)

- (3) 正規就業の維持・拡大に向けた早期離職の抑制と定着支援

- 職業観の醸成を図るために、高校生・大学生・教員等に企業・工場見学会を実施
のべ110企業を訪問 1,937名参加(H24～26年度)

3 職業生涯を通じたキャリア形成支援

- (1) 個人の主体的な能力開発の支援

- 国の教育訓練給付金制度について、各関係機関で広く周知を図ってきた

- (2) 企業による労働者の能力開発の支援

- 県立高等技術専門学校やポリテクセンター宮城、東北職業能力開発大学校で在職者訓練を実施。受講者総数 2,954名(H24～26年度)
- ・県立高等技術専門学校 589名
- ・東北職業能力開発大学校 1,372名
- ・ポリテクセンター宮城 993名

- (3) 教育施設と連携した職業能力開発の推進

- 関係機関との連携強化
- ・「宮城県における雇用の安定と定住推進協定」の締結(※教育委員会を含めた締結は全国初)
- ・「キャリア教育・志教育の推進に関する覚書」の締結
- 教育施設主催のイベントなどを通じ、職業意識の醸成を促進
- ・東北大学サイエンス・デイに県立高等技術専門学校が出展
仙台・大崎高等技術専門学校がサイエンス・デイAWARDを受賞 など

4 技能の振興

- (1) 技能振興、技能尊重機運の醸成

- ものづくりの魅力を発信するために広報誌等を作成
- ・製造業認知度向上冊子 9.6万部発行(H25～26年度)
- ・ものづくり産業広報誌 4万部発行(H26年度)
- ・キャリア教育広報誌 21万部発行(H24～25年度)

- 卓越技能者(現代の名工)等に表彰

・卓越技能者(現代の名工)総数 15名(H24～27年度)
・卓越技能者(宮城の名工)総数 54名(H24～27年度)
・宮城県青年技能者総数 46名(H24～27年度)

- (2) 若年者に対する熟練技能や伝統技能の伝承

- ものづくり人材育成コーディネート事業を実施
- ・熟練技能者を地域ごとに掘り起こし
- ・工業系高校への派遣による技能実践教育など
- 高校生の技能検定申請者総数 1,791名(H24～26年度)

5 特別な支援を必要とする方に対する職業能力開発

- (1) 長期失業者、学卒未就職者、ニート等の若者、母子家庭の母等に対する能力開発

- 母子家庭の母等に対する訓練
就職者総数 31名(H24～26年度)

- (2) 障害者に対する能力開発

- 宮城障害者職業能力開発校 普通課程就職者総数 38名(H24～26年度)